

第 30 回みのわ未来委員会 会議要録

日 時：令和 5 年 11 月 29 日（水）15 時～16 時 30 分

会 場：産業支援センター 2 階研修室

参 加 者：委員 10 人（zoom 参加：沖村委員）

欠席石田委員

町長、副町長、事務局 4 人（企画振興課：唐澤課長、鮎澤課長、有賀係長、小松）

報道機関：3 者（伊那ケーブル、長野日報社、みのわ新聞社）

1 開 会（唐澤企画振興課長）

5 協議事項（進行：安積会長）

(1) 箕輪町第 5 次振興計画の進捗と評価について（事務局説明）

萩原委員）

参考資料 1 の若者世帯定住支援奨励制度で県外 92 人の実績。資料 1-1 には UI ターン支援事業とあるが、どのように PR しているか

事務局）

移住相談フェア等での PR、専任の相談員の設置、移住体験住宅の活用、県外移住者に対する補助金を手厚くするなど実施し、結果に結びついている。引き続き積極的に進めたい。

萩原委員）

新型コロナの影響によりリモートで仕事する人が増加。地方へ移住する人も増加している。その中で若い人が仕事をどうするかがネック。町の事業者と意見交換をし、より具体的に検討すると定住につながるのではないか。地域の中で手を結ぶ動きを進める必要がある。当行(八十二銀行)としても協力したい。

松澤委員）

各施策の内部評価は概ね順調であり、役場の人の尽力による。昼夜間人口比率に、施策からどう反映されるかと思うか。評価は内部評価でよい。全体的な事業は商工等なので人口増ベースでとらえるべきでは。施策ベースではこれもありと感じる。

町長）

KPI 設定当初、人口を吸収している側面があり、比率も 1.0 であった。これを維持したいという考えであったが、企業立地の影響で変化する。出荷額の減が人の減につながる。ここをどうしていくか。分析も難しい。1.0 を下回っている状況で工業出荷額や、農業出荷額が下がってくれば問題かもしれないが、そうではない状況である。

山中委員)

箕輪チャレンジ 17 ではなく 20 ではないか。

事務局)

修正します。

■決議→異議なし

(2) まち・ひと・しごと総合戦略の進捗と評価について (事務局説明)

征矢委員)

農産物直売所の利用者が昨年度から伸びてないが、原因は把握しているか。

副町長)

様々な施設の傾向と同じで、初年度は多く 2 年目は来客が落ち着いているといった状況。しかしながら売上げは上がっている。また、生産者からの直接出荷も増えており、全体的な賑やかさが出てきている。

竹内委員)

子育てに関して、総合戦略では小さい子供が対象になっているが、中学生などの大きい子供達を取り巻く環境についても考えなければいけないと思う。

教員の働き方改革や、中学校での部活動の対応も全国的に地域移行が進んできている。そういったことも検討していかなければならないと思っている。

唐澤課長)

中学生を取り巻く環境をどう進めていくかというのは教育委員会の中で考えていく必要がある。保護者の方々とも会話をしていけないといけない。部活の地域移行や働き方改革も前向きに進めていきたい。

町長)

部活などこういった評価・指標を入れられるか。サッカーや野球のようにすでに社会にあるものはいいが、そのほかのスポーツは難しい。教員によるのではなく、地域で解決するようにならねばと考えている。

山中委員)

資料 2 「出産子育てへの支援」子育て支援センター利用者数の数字の見え方を教えてください。

事務局)

現状値は目標設定時で、前年度(R3)と実績値(R4)の数字である。

山中委員)

目標値は年間 2 万人で、実績値は 9,697 人で内部評価が“概ね順調”で良いのか。

事務局)

昨年 of 未来委員会 of のときと同じ説明になつてしまつうが、コロナ禍においては順調

ということだったということである。

山中委員)

理解した。コロナだった旨の記載をしたらどうか。

事務局)

了、記載する。

沖村委員)

「産業の振興」の町内進出企業3件は町外の会社か。

事務局)

すべて町外である。

■決議→異議なし

(3) デジタル田園都市国家構想交付金の評価について（事務局説明）

萩原委員)

みのわの「知」と「しごと」の拠点拡大プロジェクトの内部評価は“△”だが、利用者数とか見ると“○”で良いと思うが、KPIを県外者数の割合にした根拠と考え方を教えてほしい。

山中委員)

KPIが県外者数の割合で0%というのは。県内外者との比率だったりすれば。

事務局)

この拠点は県外

萩原委員)

評価の方法はお任せしますが、個人的には“○”でいいのかなと

沖村委員)

デジタル分野で県外者とのつながりもあるので順調でいいのでは。

松澤委員)

総利用者に対しての割合だと下がるが、県外者の利用者は増えていると思う。設置から3年経ち、認知が広まってきたと思う。

安積会長)

内部評価厳しすぎないかという意見ですが、他の委員の皆さんいかがでしょうか。

柴委員)

目標値がゼロであるなら、利用者数の増的な面では“○”でいいのでは。結果としてマイナス表記だと“△”だが。

竹内委員)

昨年の実数はどうか。

事務局)

詳細な数字は今出せない。確認する。

安積会長)

委員の皆さんの熱い思いで“○”ということで。評価の指標は事務局で検討してください。

事務局)

評価指標の検討を行う。外部評価は“○”とさせていただく。

■決議→異議なし

(4) その他

■特になし。

6 その他

事務局)

令和6年度の予算に対するご意見をいただきたい。

竹内委員)

参考資料2の37.4%に落ちて、みのわメイトの活用、もっと充実を。調査回答や行政情報周知についてもぜひ活用されたい。

山中委員)

みのわメイトの常会ごとの利用状況を教えてください。

唐澤課長)

利用状況は手元に資料がなくお伝えできないが、聞き及んでいるところだと、公民館などで使われている地域もある。そのほかは把握していない。

有賀係長)

地域の中でもデジタルに長けている方と長けていない方がいる。区役員に対して利用講座をこれからやっていく予定。

山中委員)

回覧物の削減などにつながれば。

唐澤課長)

検討する。

7 閉 会